

令和7年度第1回 海老名市・県フルインクルーシブ教育推進会議【議事概要】

1. 開催の状況

- (1) 開催月日：令和7年5月12日（月）10:00～11:30
- (2) 開催場所：海老名市役所 401 会議室
- (3) 出席者：13名（1名欠席：海老名市教育委員会 就学支援課長）

2. あいさつ

- 議長の伊藤教育長（海老名市教育委員会）より、共生社会の実現（ソーシャル・インクルージョン）に向けてインクルーシブ教育の推進は重要であり、昨年度は市民等との対話を中心に取り組を進めてきたが、今年度はすべての子どもにとって「学級をホームにする」ために、学校と共に具体的な取り組を進めていきたい旨、あいさつがあった。
- 花田教育長（神奈川県教育委員会）より、海老名市教育委員会の推進ビジョン等の公表について感謝するとともに、具体的な内容を検討していく中でも、子どもたちの目線に立って一人ひとりの学びを保障していくことが大切であり、拙速にならず着実に取り組を進めていきたい旨、あいさつがあった。

3. 報告

(1) 推進ビジョンおよび5年間の取組計画について【資料1、資料1－2】

- 事務局より、令和7年3月末に公表された推進ビジョン等および令和7年度の小・中学校の具体的取組について、資料1および資料1－2により報告がなされた。
（主な意見）
 - ・ 推進ビジョン等を共有し、関係者間で同じ方向を向いて取り組を進めていきたい。
 - ・ 項目⑰「教育支援コーディネーターの専任化」とあるが、県として、協定を締結している海老名市内の全校に後補充非常勤講師を配置して、授業等の負担を軽減していくことを検討している。

(2) 令和6年度 有識者等による外部評価について【資料2】

- 事務局より、昨年度の外部評価について、資料2に基づき、報告がなされた。
（主な意見）
 - ・ 昨年度から推進会議と調査研究部会の間に距離があると感じていた。外部評価でも指摘されている通り、両会議間で意見交換等できるようにしてほしい。

(3) 海老名市フルインクルーシブ教育推進協議会の進捗について【資料3】

- 事務局より、海老名市フルインクルーシブ教育推進協議会の年間計画について、資料3に基づき、報告がなされた。

4. 議題

(1) 令和7年度の取組計画について

①調査研究部会について【資料4、資料4－2】

- 事務局より、今年度の調査研究部会について、資料4および資料4－2に基づき、説明がなされた。その後協議を行い、資料のとおり確定した。

(主な意見)

- ・ 調査項目を明確化し、継続的な調査を実施する方向はよい。また、具体的な成果物についても作成を検討していくとよいのではないかな。
- ・ 調査項目B「就学相談のあり方」は非常に難しく、調査のボリュームもあるのではないかなと思うので、スケジュールを検討して積み重ねていってほしい。
- ・ 調査項目C「すべてのこどもが安心して学ぶことができる環境整備」については、「海老名市学校施設再整備計画（令和6年8月改定）」ともすり合わせながら議論してほしい。必要であれば、教育総務課の施設担当等を調査研究部会のオブザーバーとして招いてもよいのではないかな。

②「対話の場」について【資料5】

- 事務局より、今年度の「対話の場」の年間計画について、資料5に基づき、説明がなされた。その後協議を行い、資料のとおり確定した。

(主な意見)

- ・ 児童生徒との対話の場については、今年度試行として数校で実施する予定だが、「えびなっこしあわせプラン」の中で、先生方を中心に来年度以降の児童生徒との対話の場について計画を作成していく。
- ・ えびな支援学校での対話の場では、まずは教職員の方にこの取組を理解していただくことが大切ではないかな。

(2) その他

- 全体を通じての意見交換がなされた。

(主な意見)

- ・ 今後、教育支援コーディネーターの専任化による成果の検証が重要になるだろう。
- ・ 5年間の取組計画の中に「居住地交流の拡大に向けた検討」とあるが、保護者も含めて関係者間で具体的なイメージを共有していく必要がある。
- ・ 市全体でインクルーシブ教育を進めていく期待感は大い。既存の制度を壊してつくり直していくつもりで進めていく必要性を感じている。

5. 事務連絡

- 第2回推進会議は、令和7年8月26日（火）に県庁周辺で実施予定

以上